

# 山形有機エレクトロニクス イノベーション戦略推進地域

産学官連携有機エレクトロニクス技術の事業化  
(地域イノベーションシステム山形モデルの構築)

参考機関 (太字はプログラム実施機関)

産…山形県中小企業団体中央会、  
山形県企業振興公社、  
山形県産業技術振興機構  
学…山形大学  
官…山形県、米沢市  
金…山形銀行、  
荘内銀行、  
きらやか銀行

## 地域イノベーション戦略

「山形の強み」である有機EL照明をはじめとした有機エレクトロニクス(有機EL、有機太陽電池、有機トランジスタ)技術と新型リチウムイオン電池のさらなる発展と地域における産業化の促進に、産業界、大学、行政機関の力を結集して取り組むことにより、山形モデルの地域イノベーションシステムを確立し、本県に有機エレクトロニクス関連産業の集積を図り「有機エレクトロニクスといえば山形」の実現を目指します。



プロジェクトディレクター  
**島田 新一**

略歴：産学官連携有機エレクトロニクス事業化推進センター事業化推進部長、東芝総合研究所半導体技術研究所等の勤務を経て現職。

「有機エレクトロニクスといえば山形」の実現のため、「スーパーイノベーターチーム」による実用化技術開発、「REMT」プログラムによる産業界への人材輩出、地域に根ざしたコーディネート活動の強化による「山形イノベーションネットワーク」の構築、最新施設設備の地域企業等への共用化による企業への技術移転等に、産学官が連携して取り組みます。

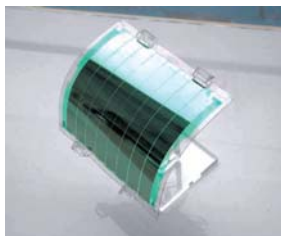
## 事業の内容

### 【全体計画及び成果】

基礎研究を行う「有機エレクトロニクス研究センター」に加え、応用開発を行う「有機エレクトロニクスイノベーションセンター」を平成25年4月から稼働し、本格的に活動を進めています。

有機EL、有機太陽電池、有機トランジスタ関連では、コストダウンに繋がる印刷技術を応用し、薄い・軽い・曲げられる等特徴ある試作品の開発に取り組んでいます。

また、新型リチウムイオン電池関連では、「蓄電デバイス開発研究センター」を設立し、リチウムイオン電池の性能向上を図るハイブリッドセパレータの実証を進めています。更に、試作評価機能を有する新たな拠点設立(平成28年4月開所予定)の計画を進めています。



左図：超軽量/薄型フレキシブル有機太陽電池

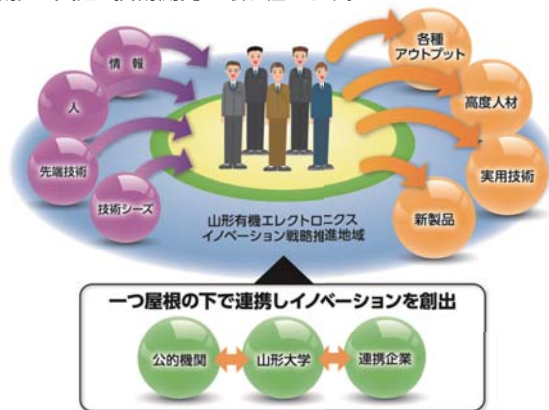


右図：フレキシブル有機EL照明パネル(50mm角、100mm角)

### 【実施する支援メニュー】

1. 地域イノベーション戦略の中核を担う研究者の集積  
(実施機関：山形大学)

卓越技術者(イノベーター)が県内外の企業と共同でプロセスイノベーションの中核技術(印刷によるデバイス製造技術)の実証・技術開発に取り組めます。



2. 地域イノベーション戦略実現のための人材育成プログラムの開発及び実施(実施機関：山形大学)  
高度な人材(REMT)教育を実践する特別プログラムを開発、実践します。
3. 大学等の知のネットワークの構築  
(実施機関：山形県産業技術振興機構)  
企業の新規参入・事業化に向けたマッチング等支援、県内外への普及を図ります。
4. 地域の大学等研究機関での研究設備・機器等の共用化  
(実施機関：山形大学、山形県産業技術振興機構)  
有機エレクトロニクス先端機器類の技術支援、共用化を図ります。